

科目	応用有機化学 (Applied Organic Chemistry)		
担当教員	大淵 真一		
対象学年等	応用化学科・5年・前期・必修・1単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A4-1(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	現在までの我が国における有機工業化学を，歴史，合成法，製品の用途について各論的に述べる．特に合成法については，有機化学の基礎理論の理解度を確かめながら講義を進める．		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-1】石炭化学工業の歴史、製品の用途が理解できる。石油化学工業の歴史、原油の精製法が理解できる。石油化学製品の合成法が反応式で記述できる。		石炭化学工業の歴史、製品の用途、石油化学工業の歴史、原油の精製法が図と反応式で記述・説明できるか、また石油化学製品の合成法が反応式で記述できるかを中間試験で評価する。
2	【A4-1】染料、医薬品、農薬、香料の構造と命名および合成法(反応式)が記述できる。		染料、医薬品、農薬、香料の構造と命名が記述できるか。それらの合成法が反応式で記述できるかを定期試験で評価する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	中間試験40%，定期試験40%，レポートおよび学習成績20%で評価する．		
テキスト	「有機工業化学第6版」阿河利男・小川雅弥他著(朝倉書店)		
参考書	「有機医薬品化学」谷田博他共著(化学同人) 「香料の化学」赤星亮一著(大日本図書) 「農薬の化学」長澤正雄・石井義男著(大日本図書)		
関連科目			
履修上の注意事項	有機化学，有機合成化学，高分子化学の内容を十分に理解しておく必要がある．		

